

## 県中域内地域連携担当教職員等研修会

日時：令和3年6月30日（水）13：20～16：30

場所：郡山市労働福祉会館

参加者：72名

小学校38名 中学校19名 義務教育学校1名 高校12名 行政2名

講話：「地域と共にある学校をつくる」13：30～14：00

講師：福島県教育庁社会教育課社会教育主事 角田 敏文

- 現代的課題や地域課題の解決に向け、新たな手法等（地域連携）での組織的な教育活動が必要であり、地域と学校の連携・協働の視点や、地域連携担当教職員の職務、効果についての話がありました。
- 地域において人と人との関係や生活の営みの中に、多様で豊かな教育力が存在しており、地域連携によってその力を引き出し、子どもたちに体験させることが大切であるという話がありました。

講演：「子どもの成長を促し、地域コミュニティの活性化を図る教育活動の充実

～榎葉南小学校『ふるさと創造学』の実践から～」14：10～15：40

講師：榎葉町教育委員会主幹兼指導主事 猿渡 智衛 氏

- 地域学校協働活動で、子どもにどのような力がついたのか、どのような学び方を獲得したか、どのような態度が醸成されたのか、地域住民や地域団体にどのような効果があったのか、地域に対してどのようなインパクトがあったのか等が大切であり、効果を上げるために、地域で団結して行わなければならないことを意図的にしかけることも、一つの方法であることを榎葉南小学校での実践をもとにお話しいただきました。
- 地域学校協働活動は子どもの成長を促すとともに、地域コミュニティの活性化にもつながる意義の大きい教育活動であること、そして今後の教員に求められる役割として地域と子どもを結びつけることであるという話がありました。



事例紹介：「地域と学校の連携協働の充実に向けて ～地域学校協働とコミュニティ・スクールの取り組み～」15：50～16：20

発表者：大玉村地域学校協働本部 学校支援コーディネーター 笹山 仁子 氏  
大玉村立玉井小学校 地域連携担当教職員 尾形 陽介 氏

- おおたま学園コミュニティ・スクールと大玉村地域学校協働活動の取り組みについて紹介するとともに、コーディネーター、地域連携担当教職員、地域学校協働活動推進員そしてコミュニティ・スクールディレクター等、子どもと地域をつなぐ役割を担う方々の活動についての発表がありました。
- 取組の成果と課題についての発表から、参加者は今後の活動の方向性や可能性を見いだすことができました。

